

どうとくのひろば



本年度も道徳だより「どうとくのひろば」を発行します

新年度が始まり、教室には新しい空気と活気が満ちています。子供たちは、新しい友達や先生との出会いにわくわくしながら、学級や学校の一員としての自覚を少しずつ深めています。朝の会では自分の思いを堂々と話す姿、授業では友達の意見に耳を傾けながら真剣に考える姿、そして休み時間には笑顔で元気いっぱい遊ぶ姿があちらこちらで見られます。

そうした毎日の積み重ねの中で、子供たちは自分の気持ちと向き合ったり、友達の立場になって考えたりする機会を少しずつ増やしています。今年度は、子供たちが「思いやり」や「自分らしさ」を大切にしながら、自分自身のあり方を見つめていけるような道徳の授業づくりに取り組んでいきます。

この「どうとくのひろば」では、道徳の授業の様子や子供たちの心の成長をお伝えし、ご家庭とも連携しながら道徳教育を進めていきたいと考えています。道徳教育に関するご意見やご感想も、ぜひお寄せください。

附属坂出小学校の道徳の授業で大切にしていること

毎年第1号では、道徳教育で大切にしていることをお知らせしております。

道徳教育は、子供たちが未来を切り拓き、よりよく生きていくための道徳性を養うことを目標としています。そのため、道徳科の授業では、次の四つを大切にしています。

- ・道徳的に大切なこと（思いやり、正直、友情、謙虚さ、礼儀…）が分かる。
- ・自分らしさを実感したり、自分の課題を見つけたりする。（よさに気付くことが大切です！）
- ・友達と話し合うなどして、いろいろな考え方に会ったり、物事をいろいろな角度から考えたりする。
- ・自分はこれからこうしていきたいという「自分の生き方」について深く考える。

そして、本年度は特に「まわりの人たちと関わっていくときに大切なことは何か」という考え方を視点に置き、自分はまわりの人たちとどのように関わっていききたいかを深く考え、お互いのよさを認め合い、よりよく生きるために大切なことを考えられるようにすることを目指しています。

道徳科の評価について

道徳では、子供たちの心の変化や成長の様子を温かく見守ることを大切にしています。数値による評価は行わず、ノートの記事や授業での発言、日常の行動から一人ひとりのよさや課題を捉え、励ましの言葉を伝えています。また、ご家庭でもお子さんの思いや考えに耳を傾けていただくと、気付きや学びがより深まります。成長の喜びを、学校と家庭で共に味わっていただくと願っています。

最後に

子供たちは、日々の経験を通して少しずつ成長しています。うまくいかないことや迷うことも、その一つ一つが大切な学びです。これからも、子供たちが安心して心を育ていけるよう、学校と家庭が力を合わせて支えていきたいと思えます。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

----- 切り取り -----

道徳だよりへのご質問・ご感想

() 年 () 組 児童名 ()

